

## □ 「道の駅」の防災拠点化

関越道【10/23 17:56 地震発生】

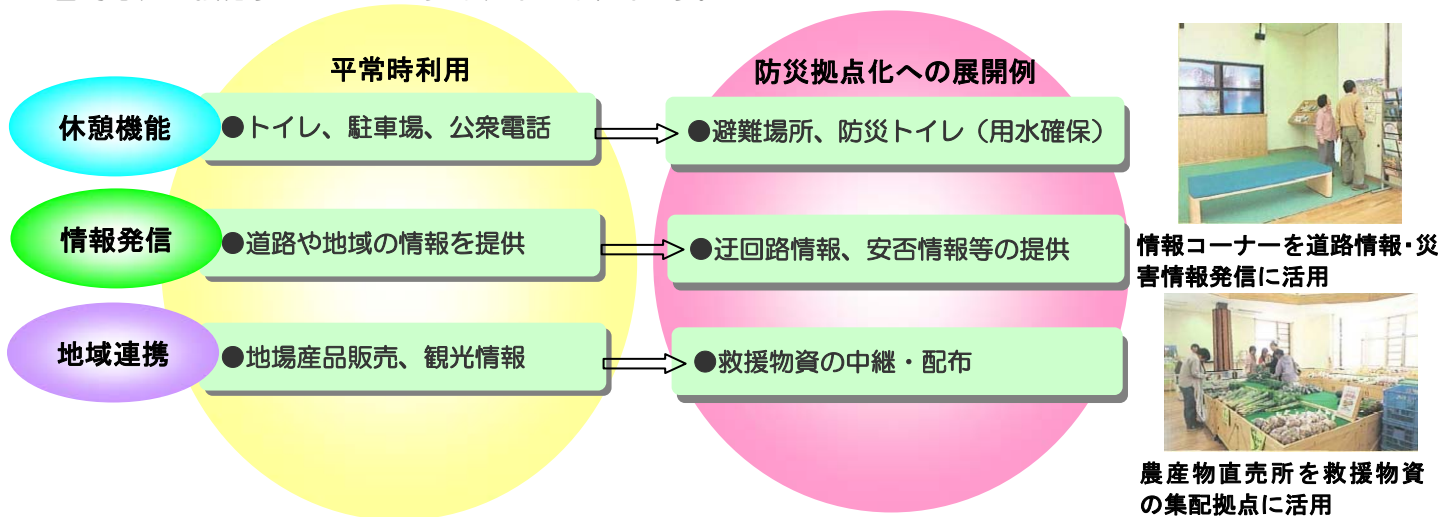


(道路の被災と復旧/国交省道路局より)

「道の駅」は、だれでも利用できる駐車場やトイレが整備され、災害時には避難場所として利用することができます。しかし、新潟県中越地震では、地震発生直後は電気や水が使用できなかったという問題点も指摘されています。そのようなことから大地震や大津波の発生時でも機能を維持できるよう、事前に防災拠点化を進めておく必要があります。弊社では多くの実績を活かし、「道の駅」の防災拠点化をお手伝いいたします。

### 1 道の駅の基本的機能と防災拠点化

平常時における「道の駅」の3つの基本的機能を災害時にも活用するとともに、それをベースとして災害対応性を強化することがより効果的で効率的です。



### 2 対象とする災害と防災対策メニュー(例)

道の駅の立地条件により対象とする災害を想定し、防災対策メニューから必要な項目を選定しておくことが必要です。

#### (自然災害への対策メニュー)

##### ○共通課題

避難場所提供、給食・給水、防災トイレ、用水・電力の確保、情報伝達、バリアフリー化

- 震災対策……………耐震性強化
- 雪害対策……………除雪、融雪
- 風水害対策……………局地的豪雨予報の迅速化
- 火山災害対策……………退避壕整備、建物の堅牢化
- 津波対策……………予報の迅速化、避難場所提供

#### (事故災害への対策メニュー)

- 海上・航空・道路・鉄道・原子力  
危険物・火災……………救護、情報提供  
(その他)
- 疫病、テロ・有事……………救護、情報提供



緊急・医療用テント等の備蓄

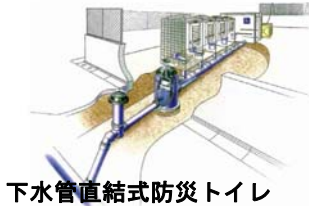
### 3 ハード面の対応 ----- 防災設備の例

(1) 防災トイレ 災害時に多数の避難者を収容するため、非常用トイレを用意します。

想定避難者数から、用意すべき防災トイレ数を算定し、公共下水道の有無により処理方式を選定します。

穴つきマンホールを用意しておき、災害時に仮設テントで被うケースもあります。

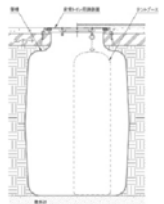
また、その仮設テントは防災資材備蓄倉庫を整備して収納しておくこともあります。



下水管直結式防災トイレ



穴つきマンホール



貯留式防災トイレ



仮設テント

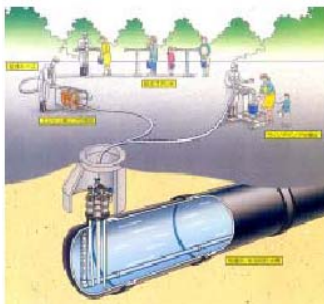


防災資材備蓄倉庫

(2) 飲料水備蓄タンク・非常用発電設備

断水に備え飲料水を備蓄します。図の例では土中の上水道管の一部がタンクとなり、災害時に流出側のバルブを遮断し、非常用飲料水として利用します。

給水のためにはポンプアップが必要となる場合があります、停電に備え非常用発電設備を設ける場合もあります。運転時の排熱温水を熱源として利用できる製品もあり、平常時はコージェネレーション（地域冷暖房）システムとして利用することもできます。



非常用飲料水タンク



非常用発電設備

(3) その他 次のような設備を導入することもあります。

貯水槽（地上または地下）、非常用井戸、井戸用（手動または電動）ポンプ、ろ過・滅菌装置、非常用照明設備、非常用放送・通信設備

### 4 ソフト面の対応

ソフト面では一般的には次のような事項を検討します。

■関係機関の役割分担と計画上の位置づけ

- 各設備の整備規模を設定し、道路管理者と地方公共団体が、それぞれの権限に応じて役割分担を明確にします。
- 防災拠点として有効に利用されるには、地域防災計画に避難場所として位置づけられることが必要です。

■防災拠点運用の充実化

- 情報発信内容 . . . . . 自治体の防災行政無線との連携を図ることが考えられます。
- 防災対策運用マニュアル策定 . . . 施設設備の利用方法を含めた運用マニュアルを整備します。
- 防災訓練 . . . . . 防災訓練や防災教育の場として利用することも考えられます。

5 業務実績 豊富な経験を活かし、計画立案から設計・運用まで全て対応します。

- ・ 道の駅八鹿整備検討業務 (国土交通省 近畿地方整備局 豊岡河川国道事務所)
- ・ 道路施設整備検討業務 (国土交通省 関東地方整備局 甲府河川国道事務所)
- ・ 道の駅防災化検討業務 (国土交通省 東北地方整備局 湯沢河川国道事務所)
- ・ 道の駅整備効果検討業務 (国土交通省 東北地方整備局 湯沢河川国道事務所)



セントラルコンサルタント株式会社

<http://www.central-con.co.jp>